

工 事 設 計 書

所 属 部 課 名		建設部 道路維持課							
部長	審議監	課長	補佐	補佐	主幹	主査	班	設計者	設計審査
工事名		法面補修工事（R7）							
工事場所		中矢切530番地先							
事 業 年 度		令和 7 年度							
工事価格		円							
請負工事費計		円							

設 計 説 明	法面補修工・・・一式 ※週休2日制適用工事※
------------------	---------------------------

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		法面補修工	中矢切地区	式	1			第 1 号内訳書参照 @U001
	直接工事費計			式	1			++P
		共通仮設費		式	1			!11Kr
		共通仮設費計		式	1			+3K
	純工事費			式	1			++J
		現場管理費		式	1			!11Jo
	工事原価			式	1			++G
		一般管理費等		式	1			!90Gp
	工事価格			式	1			++T
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			%S10
工事費計				式	1			++U

第 1 号 内訳書 法面補修工

中矢切地区

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ひび割れ補修工（低圧注入工法）		構造物	1			第 1 号単価表参照 SWB229110-J01&80*
ひび割れ補修工（充てん工法）		式	1			第 2 号単価表参照 V0011&80
断面修復工		式	1			第 3 号単価表参照 V0001&80
目地材補修工		式	1			第 4 号単価表参照 V0003&80
目地材設置工		式	1			第 5 号単価表参照 V0004&80
張ブロック補修工		式	1			第 6 号単価表参照 V0005&80
堆積土砂撤去工		式	1			第 7 号単価表参照 V0007&80
伐採工		式	1			第 8 号単価表参照 V0008
仮設工		式	1			第 9 号単価表参照 V0009
計						

第 1 号 単価表

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

1 構造物 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.52			TY001633001
シール材	エポキシ樹脂系	kg	1.781			1.3*(1+0.37) TY001670000
材料費	低圧注入器	個	20			特別調査 TY000800005
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	1 構造物 当り					

SWB229110

J01 1 構造物当り補修延べ延長区分 = 1 25m未満

J04 1 構造物当りシール材設計量（実数）[kg] = 1.3

J03 1 構造物当り注入材使用量（実数）[kg] = 0.52

J05 1 構造物当低圧注入器具使用量（実[個]）= 20

第 2 号 単価表 ひび割れ補修工（充てん工法）

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ひび割れ補修工（充てん工法）		構造物	1			第 10 号単価表参照 SWB229010-J01&80
Co廃材処分工	無筋Co	m3	0.001			第 11 号単価表参照 V0002&80
計	1 式 当り					

第 3 号 単価表

断面修復工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
断面修復工（左官工法）		構造物	1			第 12 号単価表参照 SWB229210-J01&80
Co廃材処分工	無筋Co	m3	1.1			第 11 号単価表参照 V0002&80
計	1 式 当り					

第 4 号 単価表

目地材補修工

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
シール材		m	14.85			第 13 号単価表参照 SCB224820-J01&80
シール材 (材料費)		L	5.94			第 14 号単価表参照 SCB224821-J01&80
計	1 式 当り					

第 5 号 単価表

目地材設置工

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
シール材		m	0.4			第 13 号単価表参照 SCB224820-J01&80
シール材 (材料費)		L	0.16			第 14 号単価表参照 SCB224821-J01&80
計	1 式 当り					

第 6 号 単価表

張ブロック補修工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物取壊し工		式	1			第 15 号単価表参照 V0006&80
張ブロック撤去工		m2	47			見積 第 16 号単価表参照 V0010&80
張ブロック設置工	再利用	m2	47			第 17 号単価表参照 SCB226020-J02&80*
コンクリート工		m3	0.8			第 18 号単価表参照 SCB240010-J01&80*
計	1 式 当り					

第 7 号 単価表

堆積土砂撤去工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削		m3	8.64			第 19 号単価表参照 SCB210100-J01&80
人力積込		m3	8.64			第 20 号単価表参照 SCB210830-J01&80
土砂等運搬		m3	8.64			第 21 号単価表参照 SCB210110-J02&80
建設発生土処理費	1処理、流6を除く	m3	8.64			AF80038
計	1 式 当り					

第 8 号 単価表

伐採工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
伐採工		本	95			W0001
抜根工		本	95			W0002
集積及び積込		式	1			W0003
処分費		式	1			W0004
運搬費		式	1			W0005
計	1 式 当り					

第 9 号 単価表

仮設工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人日	126			第 22 号単価表参照 SWB010212-J01
計	1 式 当り					

第 10 号 単価表

ひび割れ補修工（充てん工法）

1 構造物 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
材料費	ポリマーセメントモルタル 充填工法用	kg	2.544			2.12*(1+0.20) 特別調査 TY000800007
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	1 構造物 当り					

SWB229010

J01 1 構造物当り補修延べ延長区分 = 1 20m未満

J03 1 構造物当充てん材設計量（実数）[kg] = 2.12

第 11 号 単価表

Co廃材処分工

無筋Co

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
Co殻運搬		m3	1			第 23 号単価表参照 SCB210110-J01&80*
無筋C o 処分費	東葛飾	t	2.35			TZ901146040
計	1 m3 当り					

第 12 号 単価表

断面修復工（左官工法）

1 構造物 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				RR0125
特殊作業員		人				RR0101
普通作業員		人				RR0102
材料費	ポリマーセメントモルタル 左官工法用	m3	1.31			1.11*(1+0.18) 建設物価2025.6-P193 TY000800003
諸雑費（率＋まるめ）		式	1			#09
計	1 構造物 当り					

SWB229210

J01 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無 = 2 無し

J03 1 構造物当り修復延べ体積（実数）[m3] = 1.11

J02 1 構造物当り修復延べ体積区分 = 2 0.1m3以上

第 13 号 単価表 シール材 1 m 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R			/H
普通作業員		%	R1			RR0102
土木一般世話役		%	R2			RR0125
	1 m 当り					

SCB224820

第 14 号 単価表 シール材（材料費） 1 L 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
材料構成比		%	Z			/H
シール材	超耐シーラー	%	Z1			建設物価2025. 6-P458 TY001413004
	1 L 当り					

SCB224821

第 15 号 単価表

構造物取壊し工

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリートはつり		m2	16.11			第 24 号単価表参照 SCB224250-J01&80
Co廃材処分工	無筋Co	m3	0.8			第 11 号単価表参照 V0002&80
計	1 式 当り					

第 16 号 単価表

張ブロック撤去工

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				RR0114
普通作業員		人				RR0102
ブロック工		人				RR0108
土木一般世話役		人				RR0125
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	日				TL001010004
計	1 m2 当り					

第 17 号 単価表

張ブロック設置工

再利用

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	%	K1			ML001010004
労務構成比		%	R			/H
普通作業員		%	R1			RR0102
運転手(特殊)		%	R2			RR0114
特殊作業員		%	R3			RR0101
ブロック工		%	R4			RR0108
材料構成比		%	Z			/H
間知ブロック		%	Z1			積算単価計上なし TY000367001
生コンクリート	18-8-25(20) 高炉 W/C60%以下	%	Z2			TZ002012001

第 17 号 単価表

張ブロック設置工

再利用

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z3			TZ006702002
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z4			TZ002122003
	1 m2 当り					

SCB226020

J01 間知ブロック規格 = 2 150kg/個未満 各種

J02 裏込材規格 = 1 再生砕石 RC-40

J03 裏込材10m2当り使用量 = 2 1.0m3を超え3.0m3以下

J04 胴込・裏込コンクリート規格 = 3 18-8-25 (高炉)

J05 胴込・裏込コンクリート10m2当り使用量 = 3 0.9m3を超え1.3m3以下

J06 遮水シート規格 = 3 不要

第 18 号 単価表 コンクリート工 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R			/H
普通作業員		%	R1			RR0102
土木一般世話役		%	R2			RR0125
特殊作業員		%	R3			RR0101
材料構成比		%	Z			/H
生コンクリート	1 8 - 8 - 2 5 （ 2 0 ） 高炉 W/C60%以下	%	Z1			TZ002012001
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2

J03 コンクリート規格 = 41

J07 現場内小運搬の有無 = 1

小型構造物

18-8-25（高炉）

有り

J02 打設工法 = 4

J05 養生工の種類 = 2

J13 費用の内訳 = 1

人力打設

一般養生

全ての費用

第 19 号 単価表 掘削 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R			/H
普通作業員		%	R1			RR0102
	1 m3 当り					

SCB210100
J01 土質 = 1

土砂

J02 施工方法 = 4

現場制約あり

第 20 号 単価表 人力積込 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
労務構成比		%	R			/H
普通作業員		%	R1			RR0102
	1 m3 当り					

SCB210830
J01 土質等区分 = 1 土砂

第 21 号 単価表 土砂等運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			MM000301001
労務構成比		%	R			/H
運転手 (一般)		%	R1			RR0115
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 22 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				RR0804
諸雑費（まるめ）		式	1			#99
計	1 人日 当り					

SWB010212

※施工パッケージ単価
SCB210110-J01&80*

第 23 号 単価表 Co殻運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			MM000301001
労務構成比		%	R			/H
運転手 (一般)		%	R1			RR0115
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 10 8.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 24 号 単価表 コンクリートはつり 1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			/H
機械構成比		%	K			/H
空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクエア型]	吐出量 5. 0 m 3 / m i n	%	K1			ML001090004
労務構成比		%	R			/H
特殊作業員		%	R1			RR0101
普通作業員		%	R2			RR0102
土木一般世話役		%	R3			RR0125
材料構成比		%	Z			/H
軽油		%	Z1			TZ006702002
	1 m2 当り					

SCB224250
J01 平均はつり厚 = 2 3cmを超え6cm以下

J02 費用の内訳 = 1 全ての費用

設計基本情報

項 目	内 容	備 考
単価世代	2025年7月1日	
諸経費の工種	道路維持工事	
施工地域補正	市街地DID補正（1）	
時間的制約状況	制約を受ける	労務費×1.06とする。交通誘導員の時間的制約は考慮しない。
週休2日補正	適用する	月単位＜現場閉所＞
その他	昼間施工、夜間施工の有無	全て昼間施工とする。

工 程 表 (参 考 资 料)

[illegible]

特記仕様書及び施工条件の明示

工 事 名 称	法面補修工事（R7）
工 事 箇 所	中矢切530番地先
工 事 概 要	法面補修工・・・一式

工事請負契約書、千葉県土木工事共通仕様書及び関係法令等を遵守すること。

明 示 項 目	明 示 事 項
工事関係	工事着手前に周辺住民及び地権者等との調整を図り、全ての作業を工期内に完了しなければならない。 また、原則として日祝日は作業を休止すること。 昼間の作業時間は8：30～17：00とする。 ただし、道路上の作業時間は所轄警察の道路使用許可証に従うこと。
用地関係	特になし
契約制度関係 （週休2日制）	本工事は、週休2日制適用工事である。 受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。 なお、予定価格には月単位の週休2日（4週8休以上）達成相当の経費を補正している。 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休2日制適用工事実施要領」に基づき行うこと。
公害対策関係	常に整理整頓及び清掃するなど周辺環境の保全、安全確保に留意すること。 また、騒音及び振動対策についても極力、低減するよう努めること。 （低騒音型建設機械等使用・クラクション音の制限）
安全対策関係	安全管理及び安全教育の徹底を図り現場内の安全に努める。 荒天時及び荒天が予測される時は作業を中止し、現場周辺の安全を確保すること。 交通整理員の配置については、交通に支障をきたさぬよう適正に配置すること。 特に重機等による作業事故を未然に防ぐよう十分な対策をとること。
工事用道路関係	開放時におけるマンホール・側溝及び舗装の段差には、十分注意を払い管理すること。 また、近隣住民とのトラブルが無いように努めること。
仮設備関係	施工方法等を考慮のうえ、請負者の責務とする。
残土・産業廃棄物関係	法令に従い適切に処分し、関係書類を提出すること。 ただし、A s ガラ及びコンクリートガラ等は、再利用を図るため、再生プラント施設へ搬出すること。
工事支障物件等	特に地下埋設等の占用物については事前に調査しておくこと。また、調査に係る費用は請負者の負担とする。なお、近接作業のおそれがある場合は、必ず、占有者の立会いのもと施工すること。 マンホール等の高さ調整がある場合は、速やかに報告すること。

施工体制	施工体制、下請け施工については、建設業法等を遵守すること。
境界杭等	道路境界（官杭(プレート)、及び民杭(プレート)）は、請負者の責任において確認し、工事完了後に復元するものとする。 特に民民の境界については、必ず杭の有無に係わらず写真を撮り住民立会いのもと復元すること。 公共基準点が設置されている、若しくは発見した場合は、監督職員に報告するとともに、管理者の指示に従い、適切な措置をとること。
公共基準点の維持管理	工事施工区間内に公共基準点等確認された場合、建設総務課との協議を実施し、必要な申請書類を提出すること。
再生資源の利用	原則として、舗装材等については、再生材を利用すること。 A s ガラ等は、再生資源として処理プラント等に搬出するので、仮置場等で他現場の発生材と混じらないよう管理すること。
施工管理に関する特記事項 (現状復旧)	請負者は、施工に際し施工現場周辺及びに他の構造物並びに施設(民地内)などへ影響を及ぼさないように施工しなければならない。 周辺施設への影響が予想される場合は直ちに監督職員へ通知し、その対応方法等に関して協議し決定するものとする。また、損傷が請負者の過失によるものと認められる場合、請負者自らの負担で現状復旧しなければならない。
完了確認検査 (事前検査)	請負者は、日常管理の段階確認、立会い確認とは別に、工事監督職員等による完了確認検査を受検しなければならない。 完了確認検査は、しゅん工届提出前に、工事完了した時点で速やかに受検すること。
熱中症対策に資する 現場管理費の補正の試行工事	本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。 工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。
その他	地元住民等の要望等を受けたとき及び疑義等があるときは、随時協議すること。 工事内容及び施工範囲の詳細については、監督職員と現場立会い等を実施した上で、確認すること。また、起終点の立会いに関しては立会い写真を撮り、しゅん工図書に収めること。

建設副産物に関する特記仕様書

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。
また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、協力業者もこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存すること。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、柏市岩井296-1番地先、片道運搬距離16.7 kmの㈱エスブロックに搬出するものとする。

建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。

4. 路盤廃材

本工事により発生する路盤材（~~——~~ m³）は、柏市風早1-5-1地先、片道運搬距離13.3kmの東京石油興業㈱に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

- ~~1) アスファルト塊（~~——~~ m³）は、柏市風早1-5-1地先、
片道運搬距離13.3kmの東京石油興業㈱に運搬し、処理するものとする。~~
- 2) コンクリート塊（1.9 m³）は、松戸市松飛台286-17地先、
片道運搬距離6.4kmの石建商事㈱に運搬し、処理するものとする。
- ~~3) 建設発生木材（~~——~~ m³）は、~~——~~ 市 ~~——~~ 町地先、
片道運搬距離~~——~~ kmの~~——~~ に運搬し、処理するものとする。~~
- ~~4) 建設汚泥（~~——~~ m³）は、八千代市吉橋字内野1075-9地先、
片道運搬距離20.3kmの千葉丸辰道路㈱に運搬し、処理するものとする。~~
- ~~5) 建設混合廃棄物（~~——~~ m³）は、~~——~~ 市 ~~——~~ 町地先、
片道運搬距離~~——~~ kmの~~——~~ に運搬し、処理するものとする。~~

なお、運搬に先立ち受入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。
工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
片道運搬距離は積算上代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。

又、元請業者は、次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- ① 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- ② 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動、塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- ③ 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打合せを行い、環境保全に留意すること。
- ④ 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

1. 数量総括表

工 種	細 目	規 格 等	単位	合計数量
ひび割れ補修工	ひび割れ注入工	施工延長	m	5.10
		注入材(エポキシ樹脂系)	kg	0.52
		シーリング材(エポキシ樹脂系) ※ロス率込み	kg	1.78
		低圧注入器具	個	20
	ひび割れ充填工	施工延長	m	7.60
		充填材(ポリマーセメントモルタル) ※ロス率込み	kg	2.54
	廃材運搬処理工	人力積込	m ³	0.001
		廃材運搬・処分	m ³	0.001
断面修復工	左官工	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	m ³	1.11
		断面修復材(ポリマーセメントモルタル) ※ロス率込み	m ³	1.31
	廃材運搬処理工	人力積込	m ³	1.1
		廃材運搬・処分	m ³	1.1
目地材補修工	シーリング工	施工延長	m	14.85
目地材設置工	シーリング工	施工延長	m	0.40
張ブロック補修工	構造物取壊し工	コンクリートはつり	m ²	16.11
		人力積込	m ³	0.8
	廃材運搬処理工	廃材運搬・処分	m ³	0.8
	張ブロック撤去工	間知ブロック張(撤去)	m ²	47
	張ブロック設置工	間知ブロック張(設置)	m ²	47
	コンクリート工	コンクリート	m ³	0.8
堆積土砂撤去工	土砂撤去工	掘削	m ³	8.64
	発生土運搬処理工	人力積込	m ³	8.64
		発生土運搬・処分	m ³	8.64
伐採工	伐採工	伐採・抜根	本	95
		集積及び積込、処分、運搬	式	1
仮設工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人	126

法面補修工事（R7）

工事箇所：中矢切530番地先（主要幹線2級市道92号）

設 計 図

松 戸 市 建 設 部 道 路 維 持 課

法面補修工事 (R7)

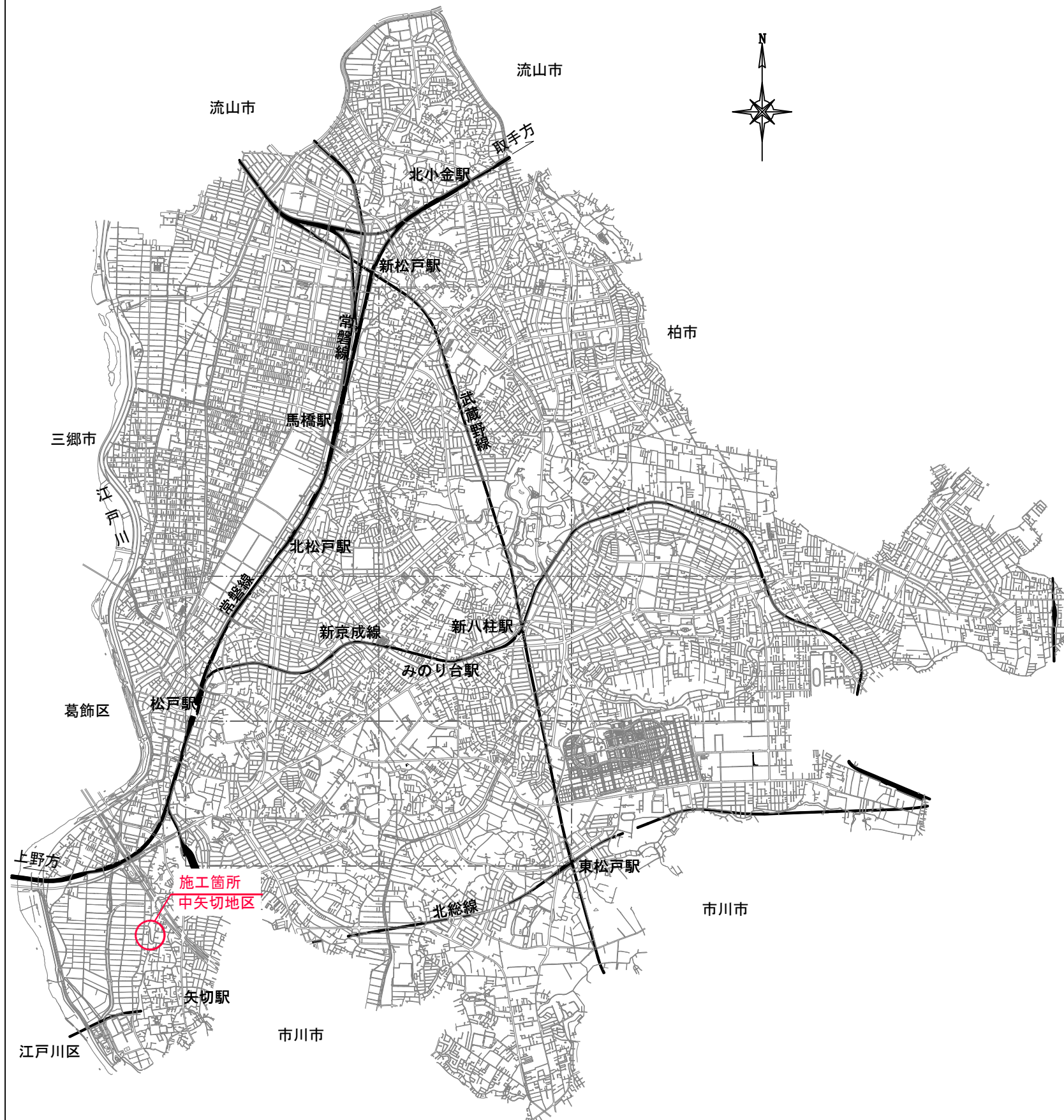
工事箇所：中矢切530番地先（主要幹線2級市道92号）

【 図 面 目 録 】

[illegible]

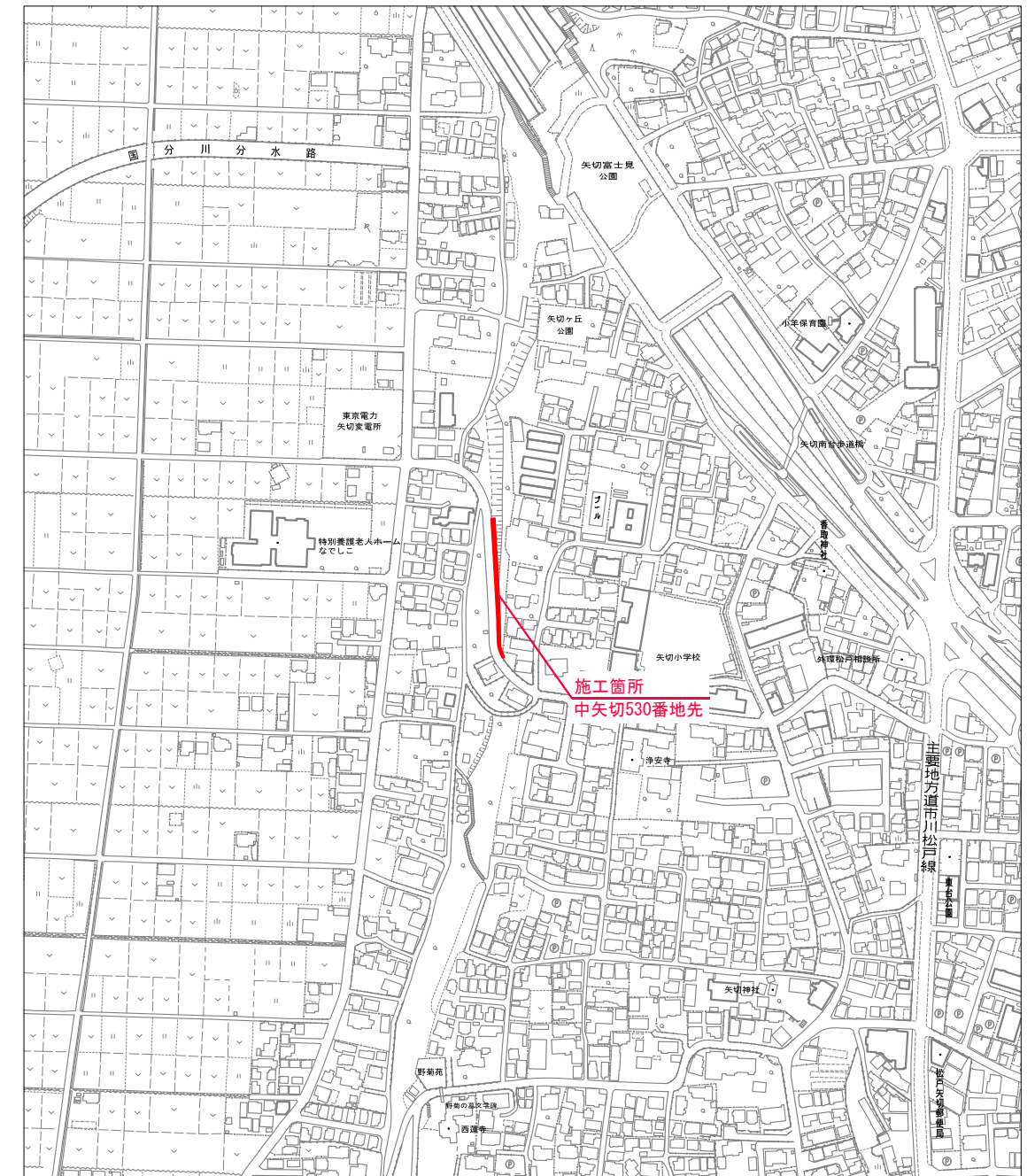
位置図・案内図

位置図 S=1/25,000



案内図 $S=1/2, 500$

【 中矢切地区 】

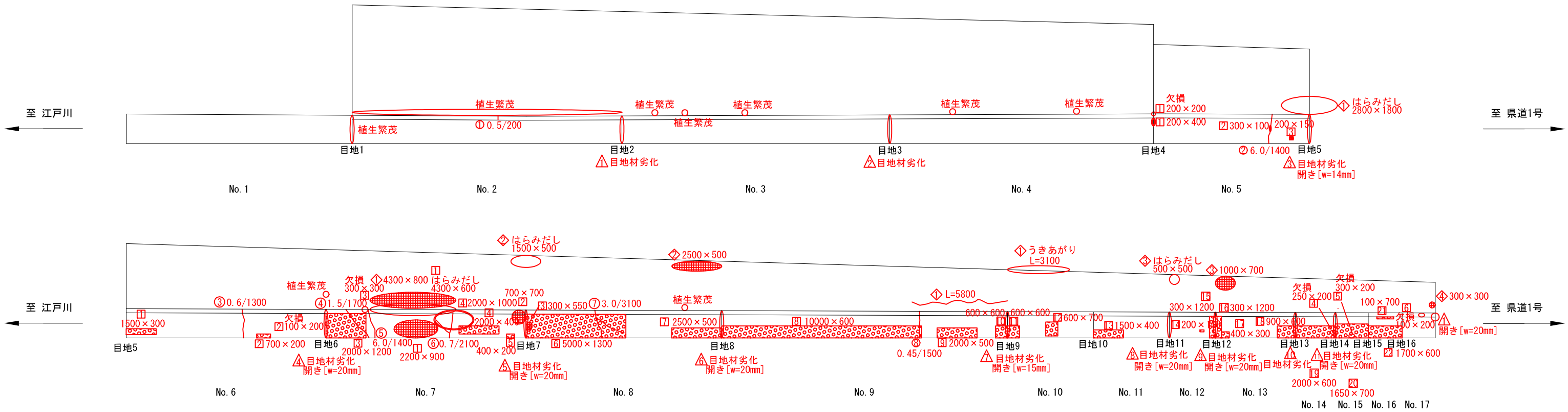


全体工事概要	法面補修工 …………… 一式 路 線 名 : 主要幹線2級市道92号 対象構造物 : コンクリート擁壁 延 長 : L=126m 最大擁壁高 : H=1.48m
---------------	---

令和 7 年度			
工事名称	法面補修工事 (R7)		
工事箇所	中矢切530番地先		
図面種別	位置図・案内図		
図面番号	全 9	葉の内第 1 号	
縮 尺	図 示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

補修対象損傷図

立面図 S=1:100



ひび割れ

番 号	幅(mm)	長さ(m)	本数	延長(m)
①	0.50	0.20	1	0.20
②	6.00	1.40	1	1.40
③	0.60	1.30	1	1.30
④	1.50	1.70	1	1.70
⑤	6.00	1.40	1	1.40
⑥	0.70	2.10	1	2.10
⑦	3.00	3.10	1	3.10
⑧	0.45	1.50	1	1.50
		合計	8	12.70

※ひび割れ補修工を実施する。
※幅0.20mm以上のひび割れを補修対象とする。

剥離

番 号	幅 (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)
①	0.20	0.40	1	0.080
②	0.30	0.10	1	0.030
③	0.20	0.15	1	0.030
④	2.00	1.00	1	2.000
		合計	4	2.14

※断面修復工を実施する。

欠損

番 号	幅 (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)
①	0.20	0.20	1	0.040
②	0.10	0.20	1	0.020
③	0.30	0.30	1	0.090
④	0.25	0.20	1	0.050
⑤	0.30	0.20	1	0.060
⑥	0.10	0.20	1	0.020
		合計	6	0.28

※断面修復工を実施する。

うき

番 号	幅(m)	長さ(m)	箇所数	面積(m ²)
①	2.20	0.90	1	1.980
②	0.70	0.70	1	0.490
③	0.30	0.55	1	0.165
合計			3	2.64

豆板

番 号	幅 (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)
①	1.50	0.30	1	0.450
②	0.70	0.20	1	0.140
③	2.00	1.20	1	2.400
④	2.00	0.40	1	0.800
⑤	0.40	0.20	1	0.080
⑥	5.00	1.30	1	6.500
⑦	2.50	0.50	1	1.250
⑧	10.00	0.60	1	6.000
⑨	2.00	0.50	1	1.000
⑩	0.60	0.60	1	0.360
⑪	0.60	0.60	1	0.360
⑫	0.60	0.70	1	0.420
⑬	1.50	0.40	1	0.600
⑭	0.20	0.10	1	0.020
⑮	0.30	1.20	1	0.360
⑯	0.30	1.20	1	0.360
⑰	0.40	0.30	1	0.120
⑱	0.90	0.60	1	0.540
⑲	2.00	0.60	1	1.200
㉑	1.65	0.70	1	1.155
㉒	0.10	0.70	1	0.070
㉓	1.70	0.60	1	1.020
		合計	22	25.21

※断面修復工を実施する。

はらみだし

番 号	幅 (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)
①	4. 30	0. 60	1	2. 580
		合計	1	2. 58

※断面修復工を実施する。

目地材劣化・開き(目地部)

番号	長さ(m)	本数	延長(m)
①	1.380	1	1.380
②	1.430	1	1.430
③	1.460	1	1.460
④	1.420	1	1.420
⑤	1.390	1	1.390
⑥	1.360	1	1.360
⑦	1.310	1	1.310
⑧	1.290	1	1.290
⑨	1.280	1	1.280
⑩	1.270	1	1.270
⑪	1.260	1	1.260
合計		11	14.85

※目地材補修工を実施する。

植生繁茂
※補修時に撤去する。
開き(縦壁と張ブロックの間)

番号	長さ(m)	本数	延長(m)
①	0.400	1	0.400
合計		1	0.40

※目地材設置工を実施する。

張ブロック
※張ブロック補修工を実施する。
※堆積土砂、伐採対象樹木の数量は別途計上する。

ひび割れ

番号	長さ(m)	本数	延長(m)
①	5.80	1	5.80
合計		1	5.80

うき

番 号	幅 (m)	長さ (m)	箇所数	面積 (m ²)
①	4.30	0.80	1	3.440
②	2.50	0.50	1	1.250
③	1.00	0.70	1	0.700
④	0.30	0.30	1	0.090
		合計	4	5.48

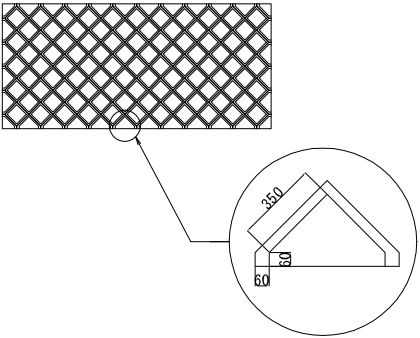
うきあがり

番号	長さ(m)	本数	延長(m)
①	3.10	1	3.10
合計		1	3.10

はらみだし

番 号	幅(m)	長さ(m)	箇所数	面積(m ²)
①	2.80	1.80	1	5.040
②	1.50	0.50	1	0.750
③	0.50	0.50	1	0.250
合計			3	6.04

張ブロック展開図
※計測可能な下段の張ブロックより再現。



色分け凡例

赤:補修対象

黒:補修対象外、維持工事で対応

ひび割れ寸法 凡例

〇〇/〇〇〇

ひび割れ長さ

ひび割れ幅

単位: mm

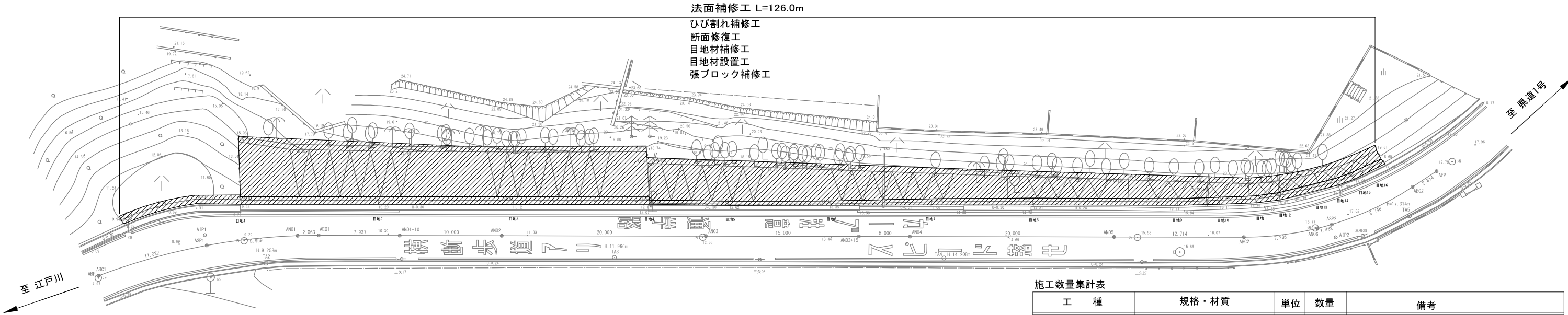
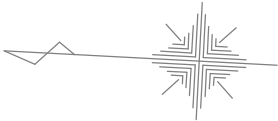
凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひび割れ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		豆板	
鉄筋露出		その他			

令和 7 年度			
工事名称	法面補修工事 (R7)		
工事箇所	中矢切530番地先		
図面種別	補修対象損傷図		
図面番号	全 9 葉の内第 2 号		
縮 尺	図 示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

補修一般図

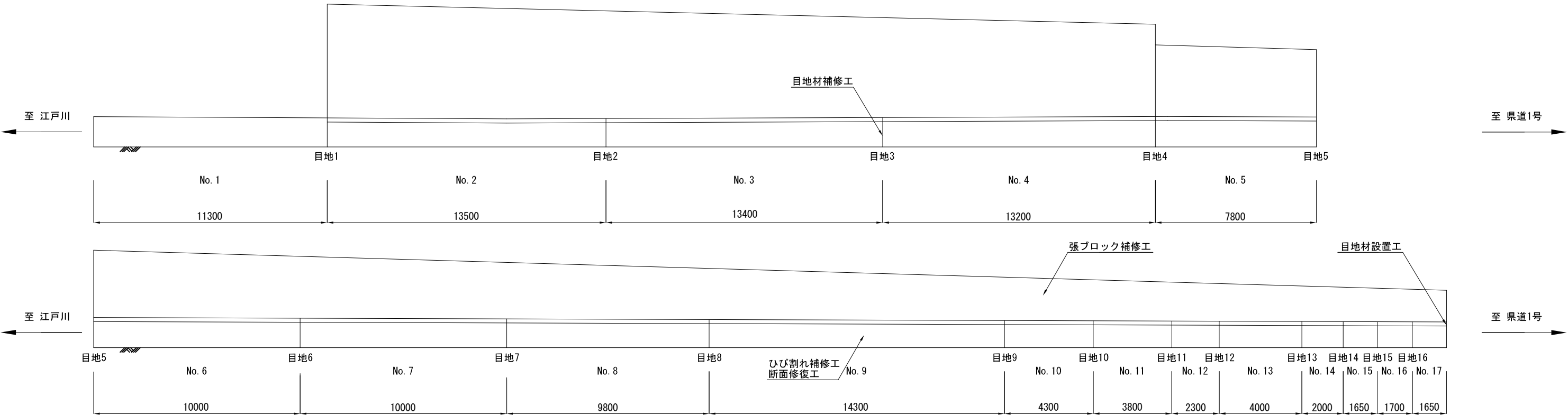
平面図 S=1:200



施工数量集計表

工 種	規格・材質	単位	数量	備考
ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系	m	5.10	幅0.2mm以上1.0mm未満の場合
ひび割れ充填工	ポリマーセメントモルタル	m	7.60	幅1.0mm以上の場合
断面修復工(左官工)	ポリマーセメントモルタル	m3	1.115	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない
目地材補修工	ポリウレタン系シーリング材	m	14.85	
目地材設置工	ポリウレタン系シーリング材	m	0.40	
張ブロック補修工	張ブロック撤去・設置	m2	46.85	

擁壁立面 S=1:100



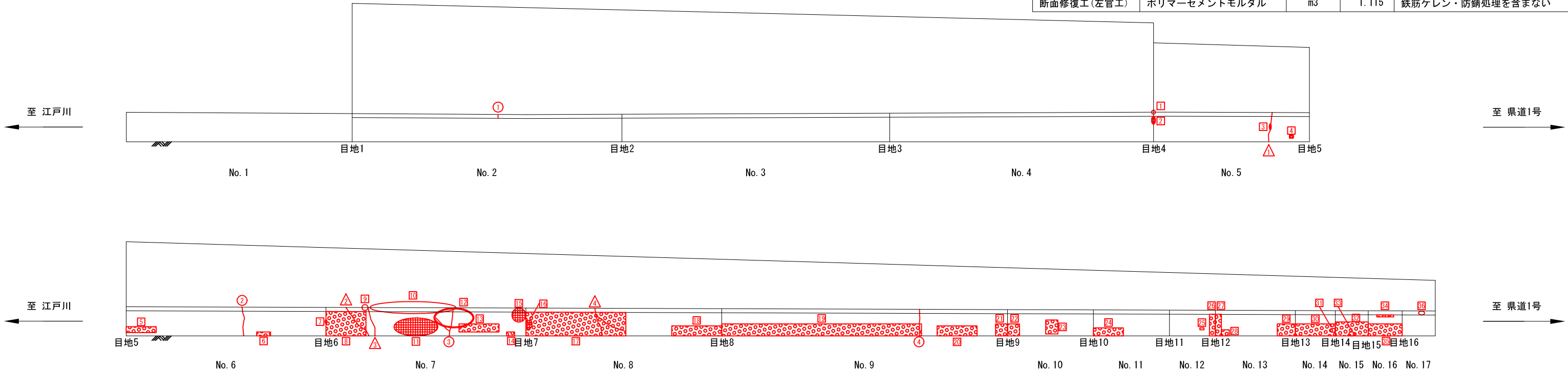
令和 7 年度			
工事名称	法面補修工事 (R7)		
工事箇所	中矢切530番地先		
図面種別	補修一般図		
図面番号	全 9 葉の内第 3 号		
縮 尺	図 示	内 容 表 示	
松戸市 建設部 道路維持課			

ひび割れ補修工、断面修復工図

擁壁立面 S=1:100

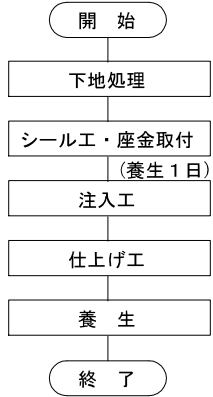
施工数量集計表

工 種	規格・材質	単位	数量	備考
ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系	m	5.10	幅0.2mm以上1.0mm未満の場合
ひび割れ充填工	ポリマーセメントモルタル	m	7.60	幅1.0mm以上の場合
断面修復工(左官工)	ポリマーセメントモルタル	m3	1.115	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない



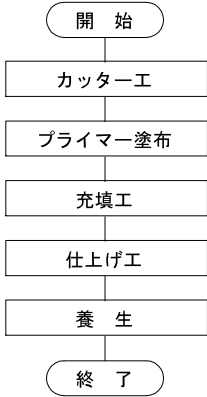
ひび割れ注入工要領フロー

＜施工手順＞



ひび割れ充填工要領フロー

＜施工手順＞



ひび割れ注入工延長

番 号	幅 (mm)	長さ (m)	本数	延長 (m)
①	0.50	0.20	1	0.20
②	0.60	1.30	1	1.30
③	0.70	2.10	1	2.10
④	0.45	1.50	1	1.50
合計			4	5.10

注記)
・現地にて補修箇所及び数量を確認の上で施工を行うこと。
・幅が0.2mm以上のひび割れを注入工による補修対象とする。

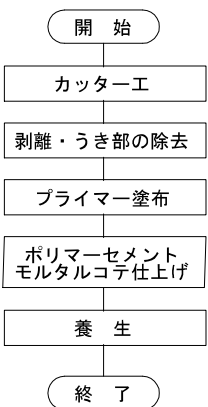
ひび割れ充填工延長

番 号	長さ (m)	本数	延長 (m)
①	1.40	1	1.40
②	1.70	1	1.70
③	1.40	1	1.40
④	3.10	1	3.10
合計		4	7.60

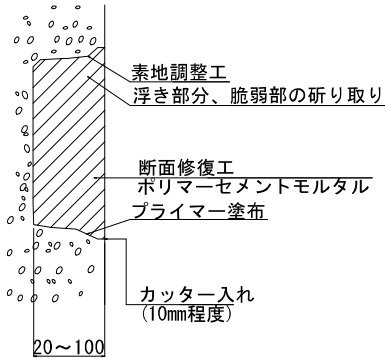
注記)
・現地にて補修箇所及び数量を確認の上で施工を行うこと。
・幅が1.0mm以上または遊離石灰を伴ったひび割れを充填工による補修対象とする。

断面修復工(左官工)要領フロー

＜施工手順＞



断面修復工
左官工法

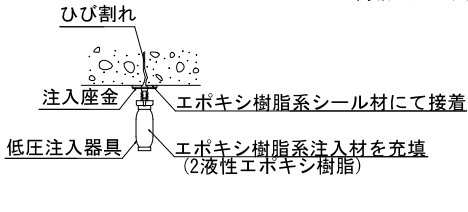


断面修復工寸法

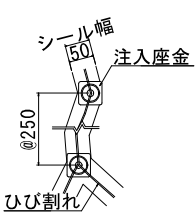
番 号	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	体積 (m ³)	番 号	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所数	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	0.20	0.20	0.05	1	0.040	0.0020	26	0.30	1.20	0.02	1	0.360	0.0072
②	0.20	0.40	0.05	1	0.080	0.0040	27	0.30	1.20	0.02	1	0.360	0.0072
③	0.30	0.10	0.05	1	0.030	0.0015	28	0.40	0.30	0.02	1	0.120	0.0024
④	0.20	0.15	0.05	1	0.030	0.0015	29	0.90	0.60	0.02	1	0.540	0.0108
⑤	1.50	0.30	0.02	1	0.450	0.0090	30	2.00	0.60	0.02	1	1.200	0.0240
⑥	0.70	0.20	0.02	1	0.140	0.0028	31	0.25	0.20	0.03	1	0.050	0.0015
⑦	0.10	0.20	0.05	1	0.020	0.0010	32	1.65	0.70	0.02	1	1.155	0.0231
⑧	2.00	1.20	0.02	1	2.400	0.0480	33	0.30	0.20	0.03	1	0.060	0.0018
⑨	0.30	0.30	0.05	1	0.090	0.0045	34	0.10	0.70	0.02	1	0.070	0.0014
⑩	4.30	0.60	0.10	1	2.580	0.2580	35	1.70	0.60	0.02	1	1.020	0.0204
⑪	2.20	0.90	0.10	1	1.980	0.1980	36	0.10	0.20	0.05	1	0.020	0.0010
⑫	2.00	1.00	0.05	1	2.000	0.1000	合計				36	32.84	1.115
⑬	2.00	0.40	0.02	1	0.800	0.0160							
⑭	0.40	0.20	0.02	1	0.080	0.0016							
⑮	0.70	0.70	0.06	1	0.490	0.0294							
⑯	0.30	0.55	0.04	1	0.165	0.0066							
⑰	5.00	1.30	0.02	1	6.500	0.1300							
⑱	2.50	0.50	0.02	1	1.250	0.0250							
⑲	10.00	0.60	0.02	1	6.000	0.1200							
⑳	2.00	0.50	0.02	1	1.000	0.0200							
㉑	0.60	0.60	0.02	1	0.360	0.0072							
㉒	0.60	0.60	0.02	1	0.360	0.0072							
㉓	0.60	0.70	0.02	1	0.420	0.0084							
㉔	1.50	0.40	0.02	1	0.600	0.0120							
㉕	0.20	0.10	0.02	1	0.020	0.0004							

注記)
・現地にて補修箇所及び数量を確認の上で施工を行うこと。
・断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
・補修対象は以下の損傷とする。
「剥離、欠損、うき、豆板、はらみだし」
・損傷が重複している箇所は、深さを考慮する。

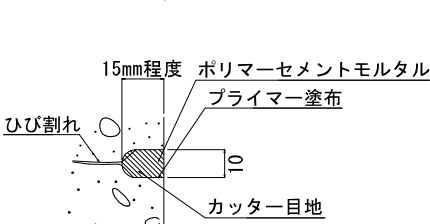
樹脂注入工法



Uカット充填工法



Uカット充填工法

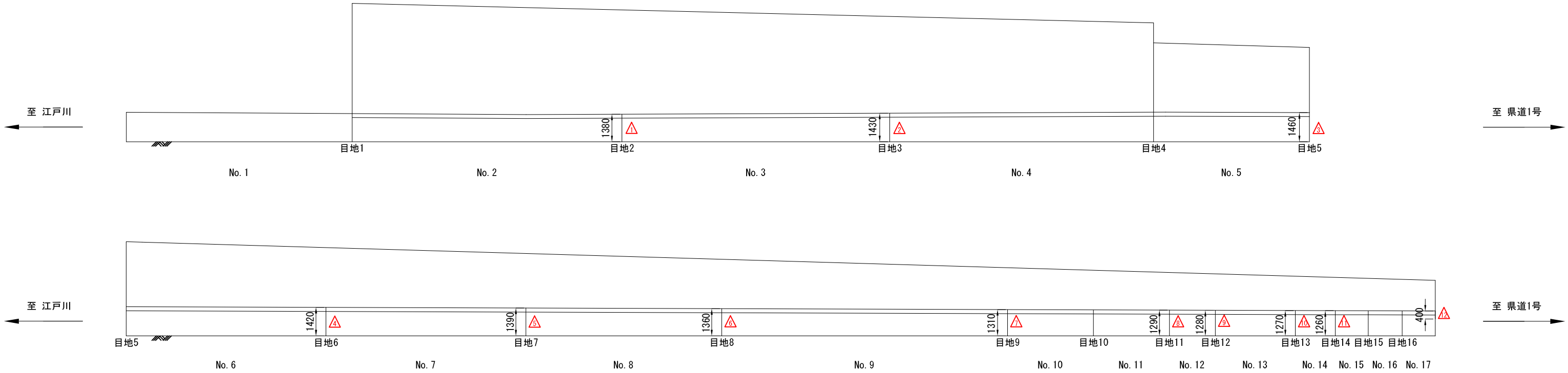


目地材補修工、目地材設置工図

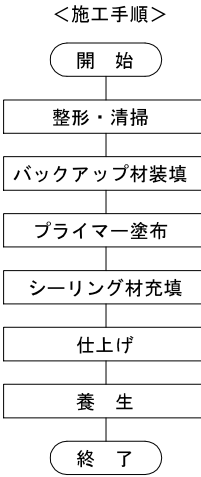
擁壁立面 S=1:100

施工数量集計表

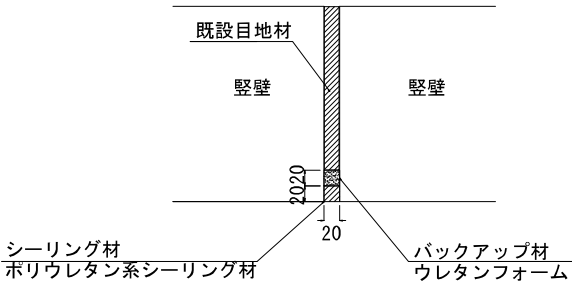
工 種	規格・材質	単位	数量	備考
目地材補修工	ポリウレタン系シーリング材	m	14. 85	
目地材設置工	ポリウレタン系シーリング材	m	0. 40	



目地材補修工要領フロー



目地材補修工



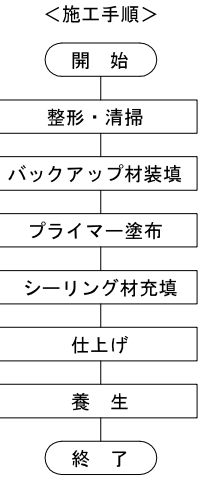
目地材補修工

番 号	長さ (m)	本数	延長 (m)
1	1. 380	1	1. 380
2	1. 430	1	1. 430
3	1. 460	1	1. 460
4	1. 420	1	1. 420
5	1. 390	1	1. 390
6	1. 360	1	1. 360
7	1. 310	1	1. 310
8	1. 290	1	1. 290
9	1. 280	1	1. 280
10	1. 270	1	1. 270
11	1. 260	1	1. 260
		合計	14. 85

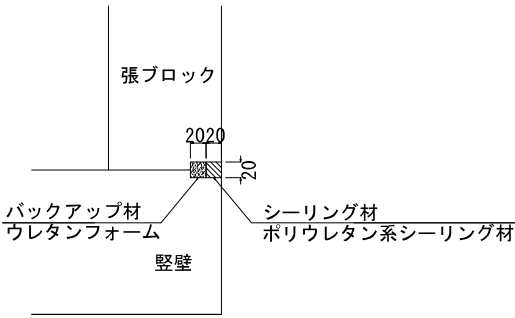
注記)

・現地にて補修箇所及び数量を確認の上で施工を行うこと。

目地材設置工要領フロー



目地材設置工



目地材設置工

番 号	長さ (m)	本数	延長 (m)
12	0. 400	1	0. 400
		合計	0. 40

注記)

・現地にて補修箇所及び数量を確認の上で施工を行うこと。

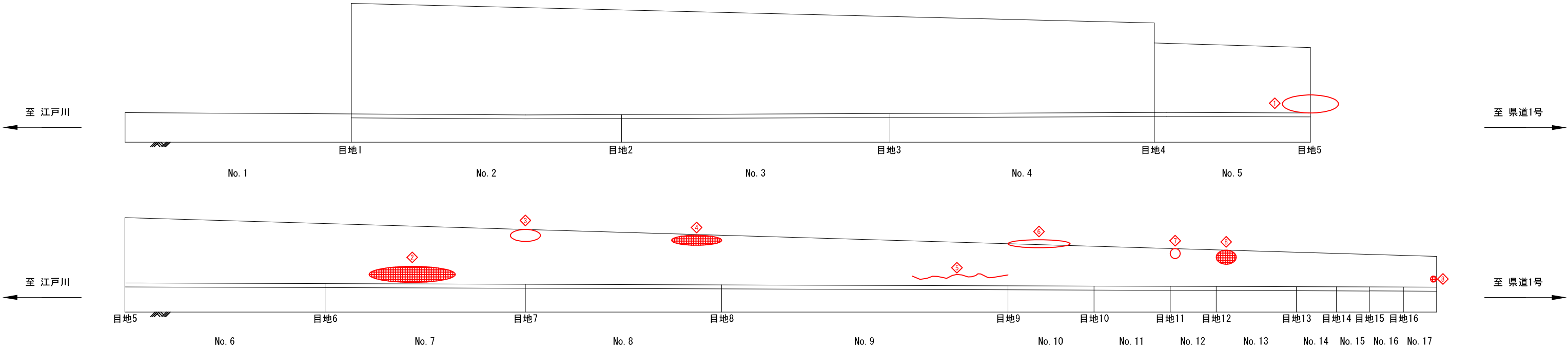
令和 7 年度			
工事名称	法面補修工事 (R7)		
工事箇所	中矢切530番地先		
図面種別	目地材補修工、目地材設置工		
図面番号	全 9 葉の内第 5 号		
縮 尺	図 示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

張ブロック補修工図

擁壁立面 S=1:100

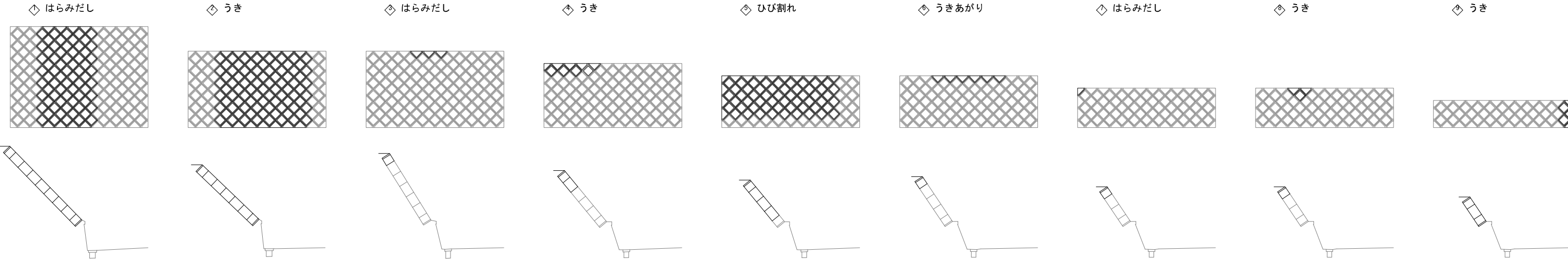
施工数量集計表

工 種	規格・材質	単位	数量	備考
張ブロック補修工	張ブロック撤去・設置	m2	46.85	



概略展開図・断面図

S=Free



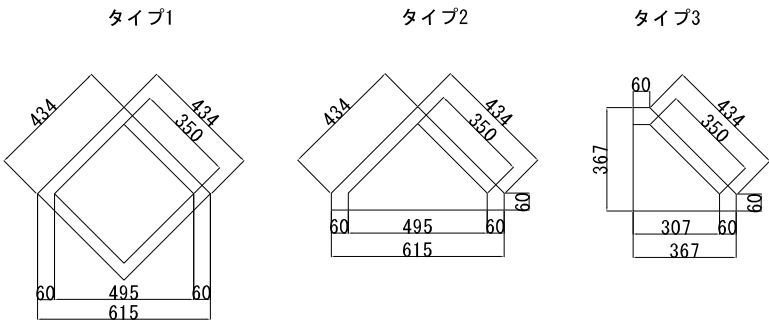
張ブロック補修工要領フロー

＜施工手順＞



番 号	張ブロック補修工 損傷範囲			補修範囲			
	幅 (m)	長さ (m)	箇所数	張ブロック個数			面積 (m ²)
				タイプ1	タイプ2	タイプ3	
①	2.80	1.80	1	68	8	0	13.628
②	4.30	0.80	1	83	14	0	17.438
③	1.50	0.50	1	0	3	0	0.393
④	2.50	0.50	1	4	4	1	1.352
⑤	—	5.80	1	54	12	1	11.650
⑥	—	3.10	1	0	6	0	0.786
⑦	0.50	0.50	1	0	0	1	0.088
⑧	1.00	0.70	1	1	2	0	0.447
⑨	0.30	0.30	1	2	1	2	0.677
合計							46.85

注記)
・現地にて補修箇所及び数量を確認の上で施工を行うこと。
・張ブロックの上端から損傷がみられる箇所までを補修範囲とする。
・張ブロックの形状は、計測可能な下段の張ブロックから推定した。



張ブロック単位数量

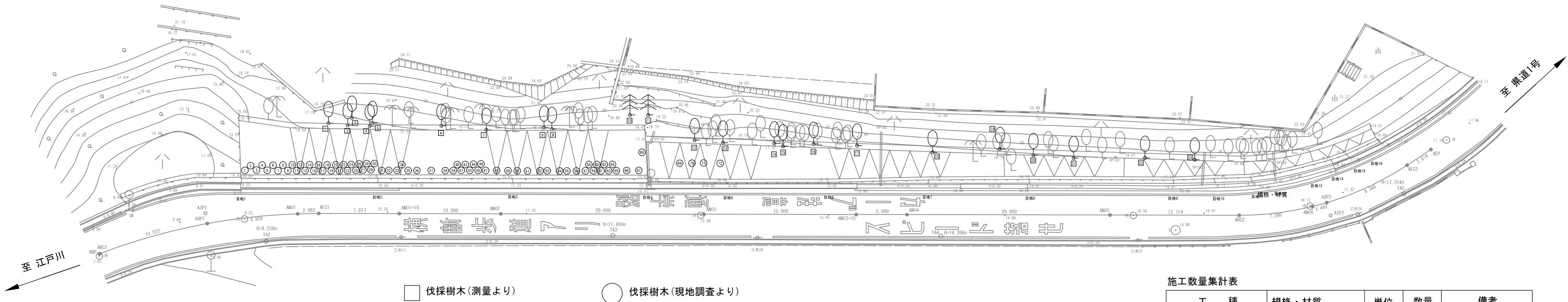
種 類	面積 (m ²)
タイプ1	0.188
タイプ2	0.131
タイプ3	0.088

注記)
本図面は、現地調査を基に作成し、現況における寸法計測の結果を反映した。
既設張ブロック上の植生と堆積土砂を撤去した際に、新たな損傷が確認される
可能性があるため、補修数量は現地状況確認の上で決定すること。

令和 7 年度			
工事名称	法面補修工事 (R7)		
工事箇所	中矢切530番地先		
図面種別	張ブロック補修工図		
図面番号	全 9 葉の内第 6 号		
縮 尺	図 示	内 容 表 示	
松戸市 建設部 道路維持課			

伐採工、堆積土砂撤去工図

平面図 S=1:200



施工数量集計表

工 種	規格・材質	単位	数量	備考
伐採工	伐採・抜根	本	95	
堆積土砂撤去工	掘削	m3	8.637	

伐採工

箇 所	測量	現地調査	小計(本)
起点～目地1	0	0	0
目地1～目地2	5	30	35
目地2～目地3	2	19	21
目地3～目地4	3	19	22
目地4～目地5	3	4	7
目地5～目地6	3	0	3
目地6～目地7	1	0	1
目地7～目地8	2	0	2
目地8～目地9	3	0	3
目地9～目地10	1	0	1
目地10～目地11	0	0	0
目地11～目地12	0	0	0
目地12～目地13	0	0	0
目地13～目地14	0	0	0
目地14～目地15	0	0	0
目地15～目地16	0	0	0
目地16～終点	0	0	0
合計	23	72	95

注記)

- ・現地にて数量を確認の上で施工を行うこと。
- ・幹回り300mm以上の樹木を伐採の対象とする。
- ・現地調査は路上からの目視調査より樹木足元での幹回りを判断。
- ・張ブロックの内側に入り込んでいる樹木の根は抜根すること。

堆積土砂撤去工(現地調査より概算)

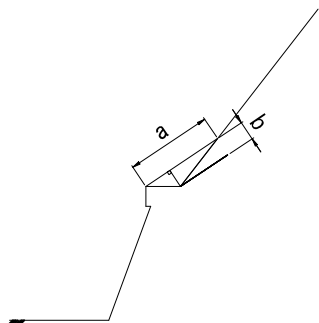
箇 所	a(m)	b(m)	断面積(m ²)	延長(m)	体積(m ³)
起点～目地1				11.30	
目地1～目地2	0.90	0.10	0.045	13.50	0.6075
目地2～目地3	0.90	0.10	0.045	13.40	0.6030
目地3～目地4	1.20	0.20	0.120	13.20	1.5840
目地4～目地5	1.50	0.15	0.113	7.80	0.8814
目地5～目地6	1.50	0.15	0.113	10.00	1.1300
目地6～目地7	1.70	0.15	0.128	10.00	1.2800
目地7～目地8	1.60	0.10	0.080	9.80	0.7840
目地8～目地9	0.90	0.15	0.068	14.30	0.9724
目地9～目地10	0.90	0.10	0.045	4.30	0.1935
目地10～目地11	0.70	0.20	0.070	3.80	0.2660
目地11～目地12	0.60	0.10	0.030	2.30	0.0690
目地12～目地13	0.50	0.15	0.038	4.00	0.1520
目地13～目地14	0.50	0.15	0.038	2.00	0.0760
目地14～目地15	0.30	0.10	0.015	1.65	0.0248
目地15～目地16	0.30	0.05	0.008	1.70	0.0136
目地16～終点	0.30	0.05	0.008	1.65	0.0132
合計				124.70	8.637

注記)

- ・現地にて数量を確認の上で施工を行うこと。

概略横断面図

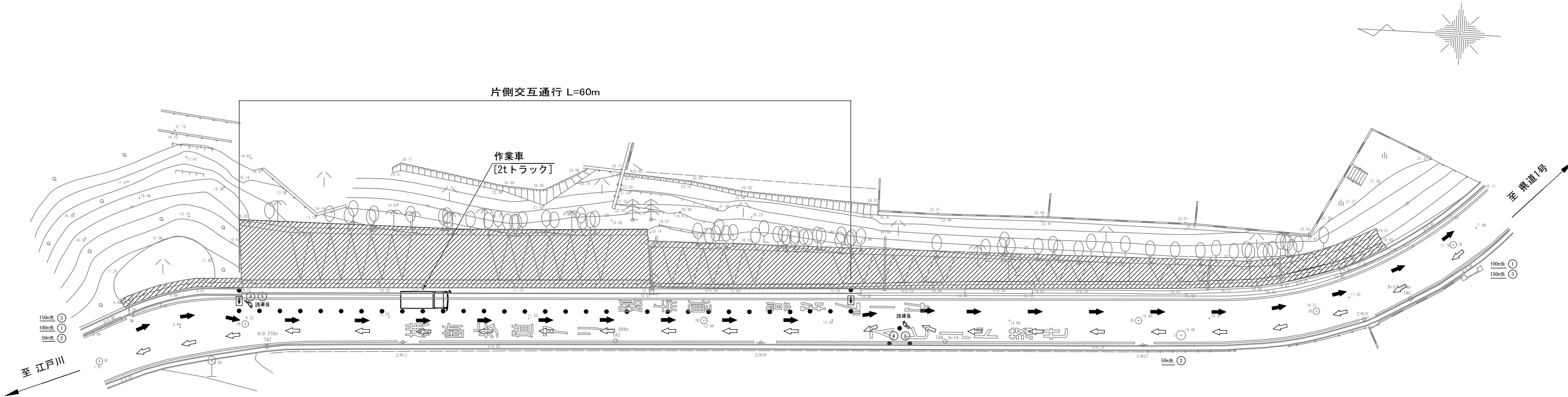
堆積土砂の数量算出



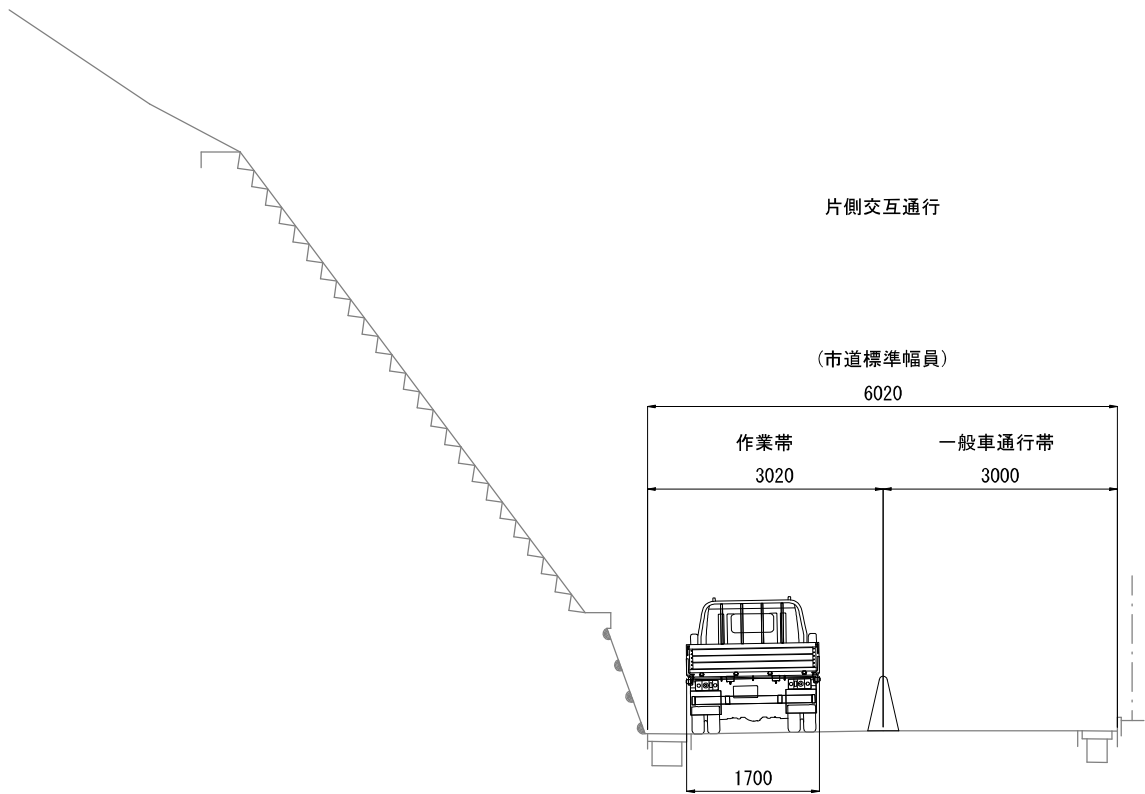
令和 7 年度			
工事名称	法面補修工事 (R7)		
工事箇所	中矢切530番地先		
図面種別	伐採工、堆積土砂撤去工図		
図面番号	全 9 葉の内第 7 号		
縮 尺	図 示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

交通規制図その1（参考図）

平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



所在地：松戸市中矢切530番地先

路線名：主要幹線2級市道92号

規制方法：片側交互通行規制

作業時間：9:00～17:00(昼間作業)

※1 規制範囲は最小限とすることを基本とする。

※2 歩行者誘導を最優先とする。

規制資材凡例

記号	①	②	③	④	⑤	●	➡	👤
形状 名称						カラーコーン	矢印板	交通誘導員
数量	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	1個/2m	2枚	2人

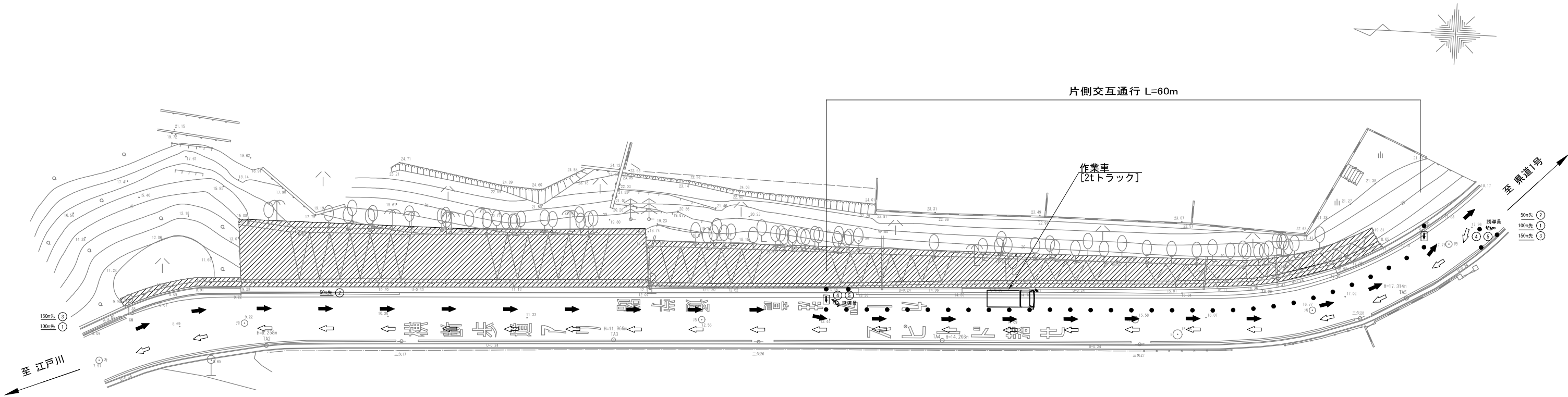
※交通規制は警察および工事業者と確認・協議の上、決定すること。

「参考図」（又は「参考資料」以下同じ）は、入札参加者の適正且つ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって、「参考図」は契約上の拘束力を生じるものでなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定める。なお、「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

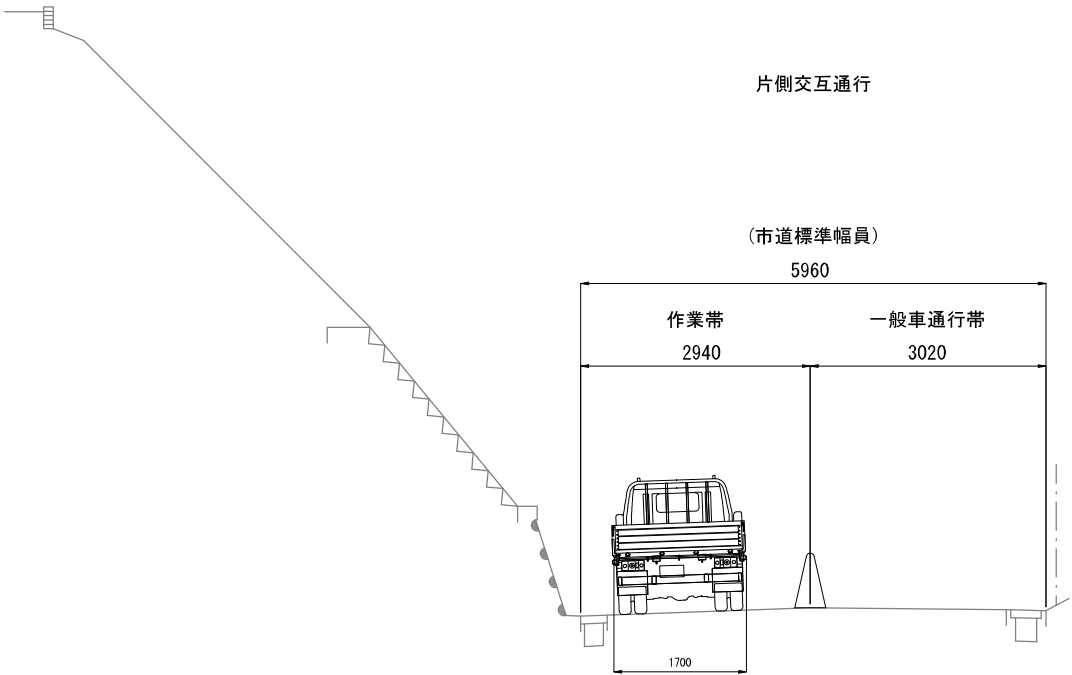
令和 7 年度			
工事名称	法面補修工事（R7）		
工事箇所	中矢切530番地先		
図面種別	交通規制図その1（参考図）		
図面番号	全 9 葉の内第 8 号		
縮 尺	図 示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			

交通規制図その2（参考図）

平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



所在地：松戸市中矢切530番地先
路線名：主要幹線2級市道92号
規制方法：片側交互通行規制
作業時間：9:00～17:00(昼間作業)
※1 規制範囲は最小限とすることを基本とする。
※2 歩行者誘導を最優先とする。

規制資材凡例

記号	①	②	③	④	⑤	●	➡	👤
形状 名称						カラーコーン	矢印板	交通誘導員
数量	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	1個/2m	2枚	2人

※交通規制は警察および工事業者と確認・協議の上、決定すること。

「参考図」（又は「参考資料」以下同じ）は、入札参加者の適正且つ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。したがって、「参考図」は契約上の拘束力を生じるものでなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定める。なお、「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

令和 7 年度			
工事名称	法面補修工事（R7）		
工事箇所	中矢切530番地先		
図面種別	交通規制図その2（参考図）		
図面番号	全 9 葉の内第 9 号		
縮 尺	図 示	内容表示	
松戸市 建設部 道路維持課			